

滝尾駅前広場整備基本計画

令和 6 年 12 月
大分市



目 次

序 章

1. 目的と位置づけ	1
2. 計画の対象	2
3. 計画の策定体制	3
4. 駅前広場の機能	4
4-1. 駅前広場の空間と機能	4
4-2. 都市の広場機能と導入施設	4

第1章 滝尾駅を取り巻く状況

1. 滝尾駅周辺の概況	5
1-1. 人口動向	5
1-2. 交通環境	6
1-3. 都市計画法規制（用途地域）の状況	8
1-4. 土地利用の状況	10
1-5. ハザードエリアの状況	12
1-6. 歴史文化資源の状況	14
2. 滝尾駅の状況	16
2-1. 鉄道の利用状況	16
2-2. 滝尾駅前の交通状況	17
2-3. 滝尾駅および周辺の現地状況	19
3. 市民意向の把握	22

第2章 滝尾駅周辺の課題

1. 滝尾駅周辺の問題点と課題の整理	23
--------------------	----

第3章 滝尾駅前広場の整備方針

1. 滝尾駅前広場の将来像・基本方針	26
1-1. 滝尾駅前広場の将来像	26
1-2. 基本方針	26
1-3. 取組内容	27

第4章 滝尾駅前広場整備基本計画

1. 滝尾駅前広場の整備計画	28
1-1. 滝尾駅の将来利用者数の推計	28
1-2. 滝尾駅前広場の交通空間に最低限必要な施設規模	28
1-3. 滝尾駅前広場の導入施設	29
2. 滝尾駅前広場の配置計画	31
3. 基本計画図	34
4. 計画実現に向けて	35

資料編

1. 上位・関連計画および関連事業	36
2. ワークショップ	52
2-1. ワークショップの概要	52
2-2. ワークショップニュース	53
3. 地元会議	61
3-1. 地元会議の概要	61
4. 滝尾駅前広場の将来利用者数	63
5. 交通空間の施設規模	69
6. 滝尾駅前広場整備基本計画の策定経過	72

序 章

1. 目的と位置づけ
2. 計画の対象
3. 計画の策定体制
4. 駅前広場の機能

1. 目的と位置づけ

本市の中央部に位置するJR滝尾駅の周辺は、JR大分駅まで鉄道で約7分という都心部へのアクセスの良さを持ちながら、身近に農地や緑地、歴史的資源が点在する魅力的な地区です。

本地区は、旧肥後街道沿いの集落から発展した歴史ある市街地であり、現在に至るまで大きな機能更新が行われておらず、成長社会から成熟社会への移行に伴い、時代のニーズに沿ったまちづくりが求められています。

このような背景から、JR滝尾駅周辺の魅力や利便性、安全性をより高めるため、都市基盤の整備を進めることを目的とし、2023年(令和5年)3月に、「滝尾駅周辺整備基本構想(以下、「基本構想」という)」を策定しました。この基本構想に基づき、今後具体的な施策を順次展開していくこととしています。

「滝尾駅前広場整備基本計画」は、特に駅前広場と駅周辺の将来像について、整備方針や空間構成などを定めることを目的としています。

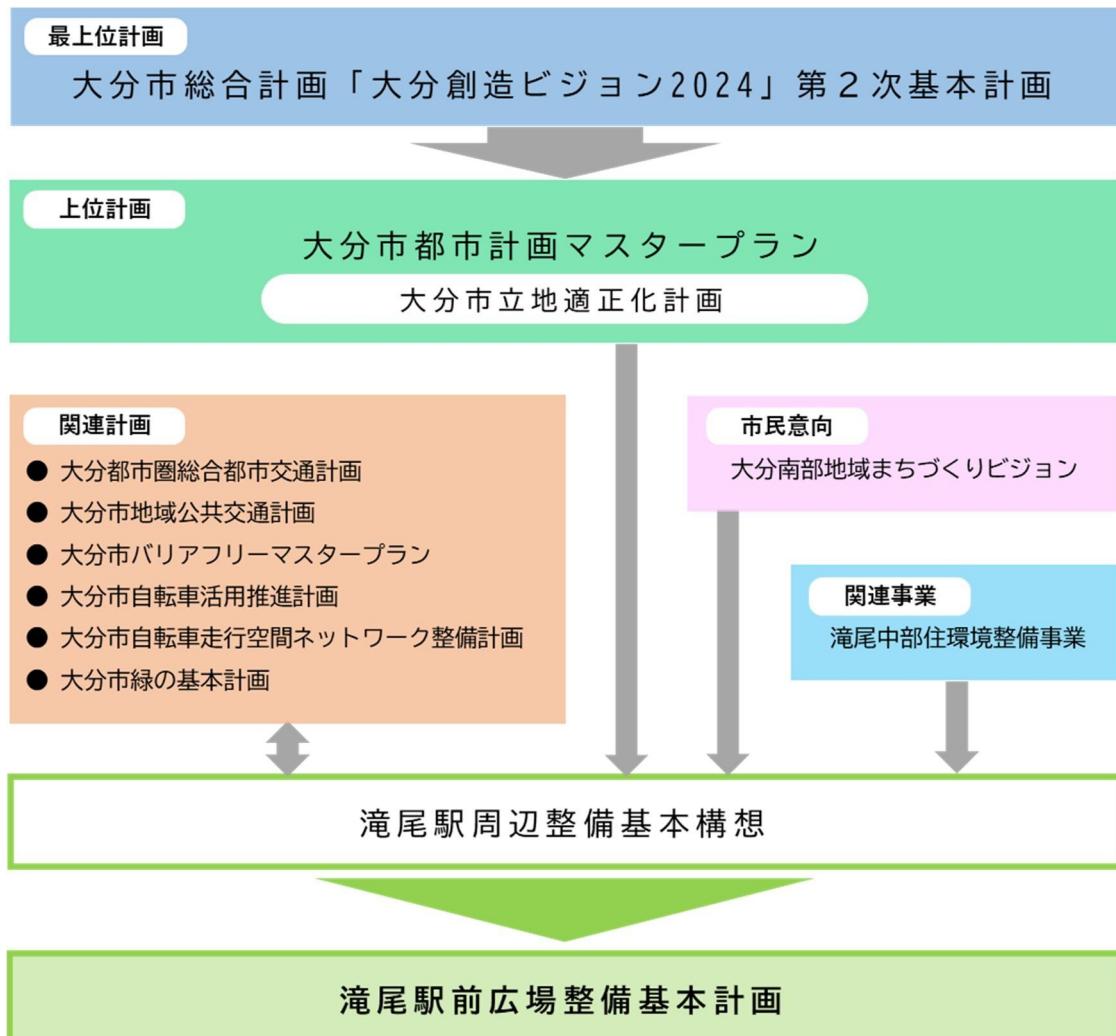


図-1 計画の位置づけ

2. 計画の対象

本計画の対象となる「滝尾駅前広場」は、1949年(昭和24年)1月31日に都市計画決定された駅前広場であり、計画面積は3,000m²(約78m×約40m)となっています。

本計画では、都市計画で決定された駅前広場区域を対象とします。

また、基本構想における他の取組とも密接に関連しているため、多角的な視点が求められます。具体的には、都市計画道路 滝尾駅前線(以下、「(都)滝尾駅前線」という)や駅周辺の整備も考慮した計画とします。

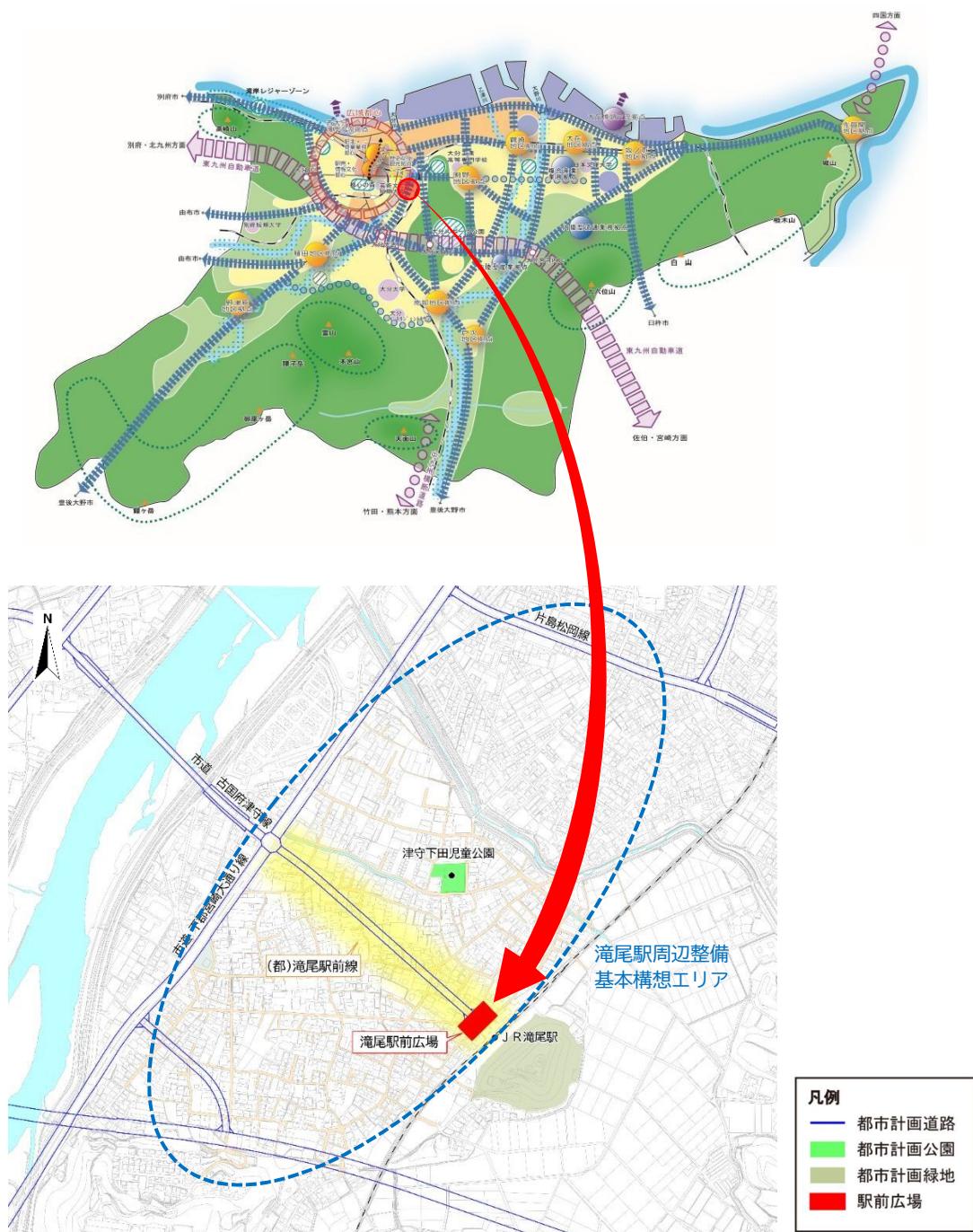


図-2 計画の対象

3. 計画の策定体制

本計画の策定にあたっては、自治会長や地元代表者などで構成する「滝尾駅前広場の基本計画に関する地元会議」を設置し、府内の関係各課や関係機関と協議しながら、計画の策定を行っています。

また、地元住民から幅広い意見を聴取するため、ワークショップを開催し、地域の問題点やまちづくりの方向性、駅前広場の整備方針について意見を収集し、計画に反映しています。

さらに、JR滝尾駅の利用状況や駅前交差点の交通量に関する実態調査を実施し、その結果を計画に活用しています。

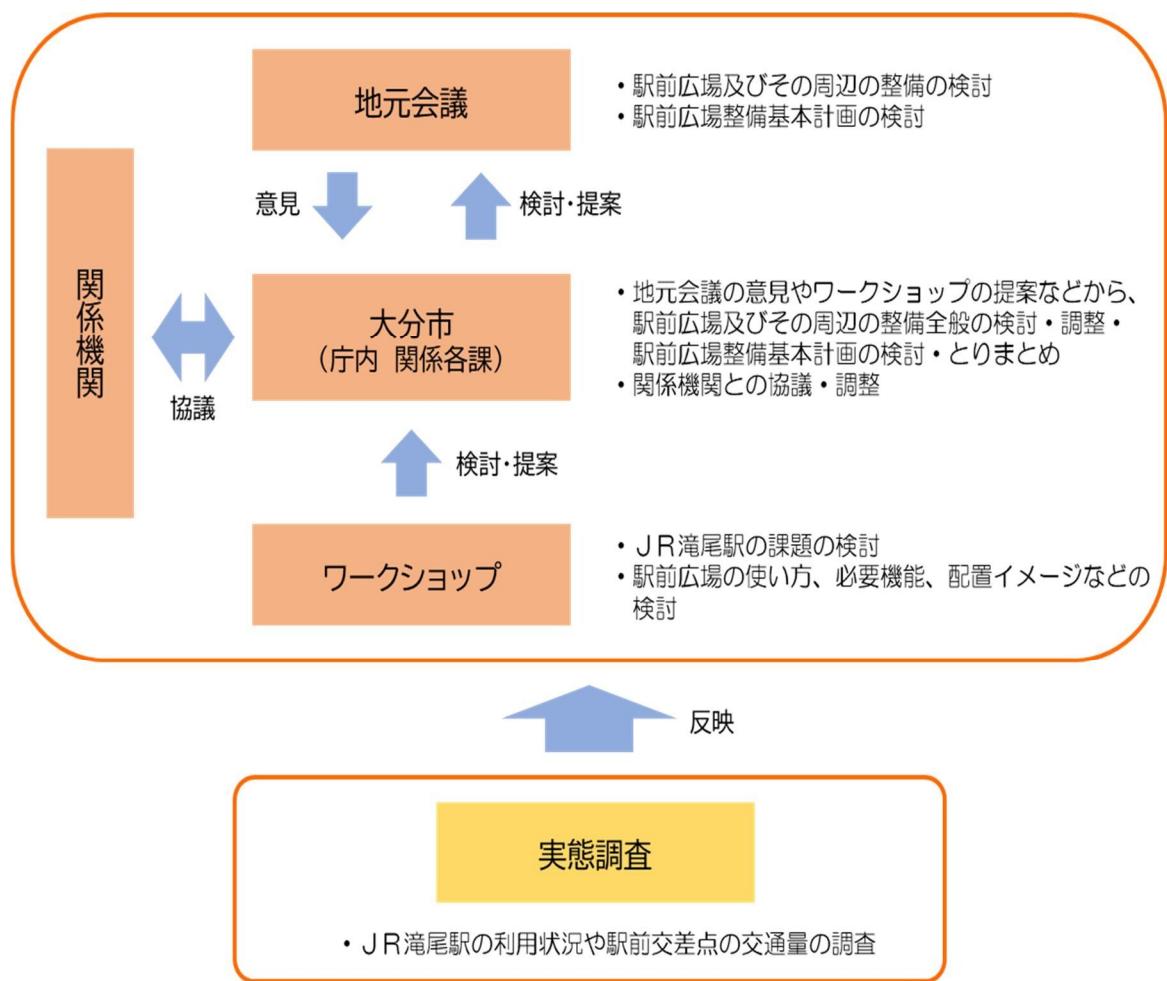


図-3 計画の策定体制

4. 駅前広場の機能

4-1. 駅前広場の空間と機能

駅前広場は、鉄道利用者がバスや送迎車等への乗換を行なう「交通空間」としての役割をもつ一方で、買い物客や待合せ等の人々の交流や都市景観を形成する「環境空間」としての役割も担っています。

駅前広場の機能は、大きく分けて「交通結節機能」と「都市の広場機能」の2つに分類されます。さらに、「都市の広場機能」は、「市街地拠点機能」「交流機能」「景観機能」「サービス機能」「防災機能」の5つに大別されます。

■駅前広場の空間と機能

空間	機能	特性
交通空間	① 交通結節機能	・ 各種交通をつなぎ、乗り換え等ができる
都市の広場機能	② 市街地拠点機能	・ 地区の拠点を形成する
	③ 交流機能	・ 憩い・集い・語らいの中心となる
	④ 景観機能	・ 地区の顔(シンボル)としての景観を形成する
	⑤ サービス機能	・ サービスや情報を提供する
	⑥ 防災機能	・ 防災活動の拠点となる

4-2. 都市の広場機能と導入施設

「都市の広場」としての機能は、すべての駅前広場において一律ではなく、駅や都市の特性に配慮し、それぞれの駅前広場に適した機能を配置することが重要です。

以下に代表的な施設を示します。

■都市の広場機能と導入施設

機能	代表的な施設	導入の基本的な考え方
市街地拠点機能	都市(地区)の拠点形成の場	- 都市内の立地により一定の役割が期待される。
交流機能	憩い・集い・語らいの場	滞留スペース プラザ、団体広場 都市特性や駅の特性に応じて導入を検討する施設
景観機能	景観形成の場	緑、親水空間 シンボル施設
サービス機能	公共的サービス 提供の場	トイレ、ポスト 電話 BOX 基本的な導入施設 ※サービス機能については、広場周辺の状況に応じて判断。
	情報提供の場	案内板
防災機能	防災活動拠点の場	- 空間そのものが、防災活動拠点の場となる。

